



手足口病は6月中旬から17週連続警報レベルとなっており、引続き注意が必要です。また、ヘルパンギーナが先週から増加しています。近隣の県で警報レベルになっている所もあり、丁寧な手洗いを心がけ感染予防に気をつけましょう。

●ヘルパンギーナについて

コクサッキーウイルスなどのエンテロウイルスの感染により、口の中の粘膜に小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。1~4歳くらいまでの乳幼児がかかりやすい夏風邪の代表的な病気の1つです。



◆どんな病気？

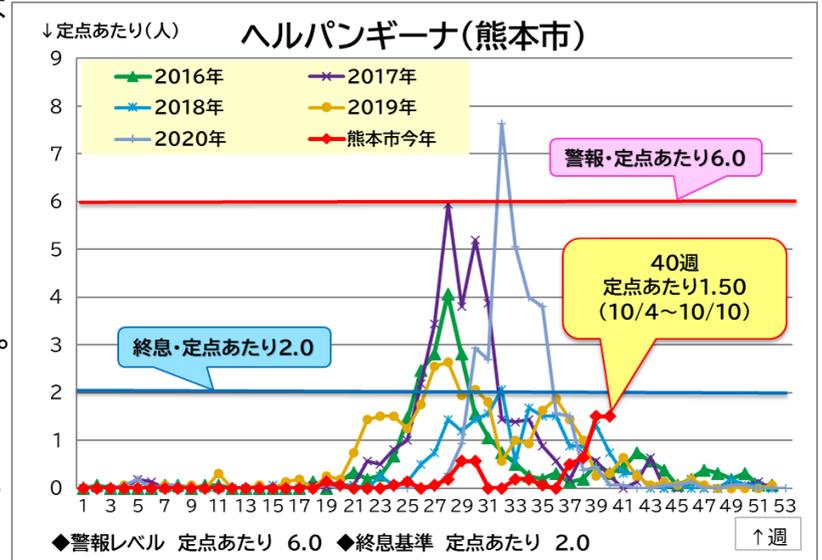
- ・**症状**……突然の発熱(38~39℃)に続いて、のどが赤く腫れて痛み、口の中の粘膜に直径1~2mmほどの小さな水疱ができます。水疱が破れて浅い潰瘍になると痛みを伴います。
- ・**潜伏期間**…2~4日程度
- ・**感染経路**…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2~4週間は便の中にウイルスが排泄されます。
- ・**流行期**……例年は夏~秋に流行し、6~7月がピークですが、今年は動向が異なります。

◆かかったらどうすればいいの？

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や心筋炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、脱水症状があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
- ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は？

- ・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。こどものおむつを取り替えた後や、鼻水をとった後などは、しっかり手を洗いましょう。



期 間		2021年 39週		2021年 40週	
		9/27~10/3		10/4~10/10(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	14	0.88	16	1.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	1	0.06	1	0.06
感染性胃腸炎	➡	29	1.81	27	1.69
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	1	0.06
手足口病	➡ 警報レベル!!	79	4.94	103	6.44
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	10	0.63	7	0.44
ヘルパンギーナ	➡	24	1.50	24	1.50
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	7	1.40	2	0.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00